

大規模ブロイラー事業計画について



竹本 幹生

竹本 阿蘇東部高冷地域での事業計画は、市の企業誘致なのか。

副市長 食肉加工施設については企業誘致であり、ブロイラーについては農業生産であり誘致ではありません。

竹本 事業運営主体となるユニティファームは、ブロイラー生産について全く実績のない会社だが、総事業費160億円の大規模事業を実施することに危惧を抱く。又、畜産環境問題でも地域住民との共存は不可欠だ。その中で、鳥インフルエンザの発症が一番懸念される。野性水鳥からの接触感染により家禽へ伝播され、感染鳥の乾燥した糞等を多量に吸い込んだり、死亡感染鳥を直接接触するなどした場合に、人へ感染する。新型インフルエンザとして世界的に流行する可能性がある」と流布される。阿蘇市は、豊かな自然条件のもとで営まれる農業と国際観光環境都市として、多くの観光客の入客が支える街だ。万が一、阿蘇市より鳥インフ

ルエンザの発生でも起きた場合、その風評被害は計り知れない。この計画が、そこまでの危険を冒しても市が誘致事業として推進することに強い疑問を感じているが。

市長 まだ、誘致企業として決定しているわけではありません。今、協議会を開いて様々な懸念される問題も鑑みながら、慎重に取り組んでいきます。



北海道のブロイラー施設

阿蘇市の景気浮揚策は



五嶋 義行

五嶋 阿蘇市として基幹産業の農業と観光をどう活性化するか。中央の好景気が伝わる前に、アメリカ発の金融危機で百年に一度の大不況になり、こんな状態では大きな雇用を生む企業誘致はなかなか難しい。阿蘇には多くのりっぱな農林畜産物があり、それらの物に付加価値を付けて売らなければならぬ。阿蘇市の農林畜産物の加工についてお尋ねする。

山口農政課長 現在、三つの施設を利用して、3団体が加工をしています。商品的な価値を高める方法として、一つは「阿蘇の価値を加える」こと。もう一つは「厳しい製品限定」を行いブランド化することです。

五嶋 新幹線開業を見据えた産業振興策は、プロジェクトチームをつくり実働してはいかがか。

渡邊経済部長 農産物の加工所間の連携を探るほか、新幹線開業も見据えて、早急に観光と農業との連携を模索する協議にも取り組みます。

一里山川の工事について

五嶋 狩尾地区の一里山川下の水路工事について、早急な改修工事を。
塚本建設課長 現地調査をした結果、水路が小さいので、測量設計をし、その後水路改修を行うというところで考えています。



阿蘇ものがたり (一の宮)

市長選挙について



松永 勲

松永 平成21年2月22日に第2回の市長選挙が行われるが、公正、公明な選挙についての市の対策は。

坂梨総務部長 公職選挙法に基づいて、広報等で周知徹底を計ります。

松永 阿蘇市を背負って立つ若い世代への棄権防止対策は。

総務部長 成人式等で啓発物資の配布や街頭での啓発活動、広報紙での政治参加、棄権防止等を周知したいと思います。

松永 阿蘇市内の不在者投票指定箇所数と施設名を伺いたい。

総務部長 大阿蘇病院、阿蘇中央病院、阿蘇温泉病院、アイライフ内牧、養護老人ホーム上寿園、阿蘇みやま荘、たちばな園の7施設です。

松永 7施設で行われる投票形式、また有権者の意思が正確に伝わり投函されているかどうかの確認、不正防止対策はどうされるか。



総務部長 指定施設の施設長が投票管理者になり、施設内に一定の場所を指定し投票所とします。投票用紙は、施設長が「有権者の投票する意思があるかないか」の確認をしたうえで、必要枚数を選管に申請し送付を受けます。投票は、最低一人の不在者投票立会人を立ち合わせます。また身体の不自由な方については、その場所に行って投票を行います。その場合は、事務補助者が二人付き、一人が本人確認を行い、一人が代筆で投票用紙に記入し、それを立会人に提示し不正がないことを確認し投函をするということです。

市職員採用について



山部今朝範

山部 合併後の職員退職者は何名か。

佐藤総務課長 66名で一般行政職が53名です。

山部 合併後の採用者は何名か。

総務課長 18年度2名、19年度4名、20年度が3名の計9名です。

山部 採用試験から採用合格者決定までの過程を伺う。

総務課長 一次試験の募集後、県下一斉に全国統一の問題で一次試験を行い、その結果を阿蘇市職員採用試験選考委員会（副市長、教育長、総務部長）により、一次合格者が選考され、市長決裁を経て二次試験へと進みます。二次試験は、市長が参加し4名で面接試験を行い、合格採用者決定となります。

山部 20年度合格採用者は3名で市外在住者からの採用が2名、市内在住者が1名となっており、合併後初の市外からの採用だと思いが。

総務課長 今回は市外在住者17名、市内在住者20名の受験応募があり、

一次試験で7名が合格され、二次試験で上位3名が合格採用となりました。

山部 市内においても働き場のない若者が増加傾向であり、企業誘致も難しい状況の中、約5百名もの職員が働く市役所も阿蘇市の貴重な雇用の場と考える。市外在住者の採用を敬遠する訳ではないが、市内在住者を重視する選考基準があっても良いのではないかと。

市長 地元の若い人が、地元に残って地域を支えていただくことが一番であります。



市職員の仕事風景